

スーパースポーツ「YZF750R/SP」の紹介

Super Sports “YZF750R/SP”

三輪 邦彦*

Kunihiko Miwa

瀧本 宏*

Hiroshi Takimoto

川北 茂樹**

Shigeki Kawakita

田中 陽**

Akira Tanaka

竹上 政喜***

Masaki Takegami

1 はじめに

当社には、'89年にOW01をレース用ベースマシンとして限定生産して以来、一般ユーザーを対象とした750ccスーパースポーツの量産モデルは生産してこなかったが、'93年よりこの度欧州スーパースポーツのイメージリーダーとしてYZF750R/SPの投入を開始したのでここに紹介する。(写真1)



写真1 '95「YZF750SP」

2 開発の狙い

OW01は、レース出場を前提として設計したマシンであったのに対し、YZF750Rは欧州のワインディング走行をメインに仕様決定がなされた。一方でレース出場するユーザーに安価にベースマシンを供給する要求にも応えるため、STD仕様とSP仕様も設定することとした。'93モデルは、ハンドリング性能と中速域でのエンジン性能で好評価を得たが、'95モデルではさらにこの強みを増強すべく、以下の項目を開発のコンセプトとした。

- ①好評点であるハンドリング面、エンジン性能をさらに向上させる。
- ②市場コンプレインに細かな対応をする。
- ③新規性、商品力の向上を狙って外観を変更し、オーリンスサスペンションを採用する。

3 エンジン関係(図1)

'93モデルは、OW01で使用した水冷並列4気筒エンジンに、8時間耐久用F1マシンのノウハウを傾注したものである。バルブレイアウト、クランクの軽量化をはじめ、吸排気系、ミッションの全面見直しを実施した。

'95モデルでは、より高性能と低燃費を高次元でバランスさせるべく、次の改良を行った。

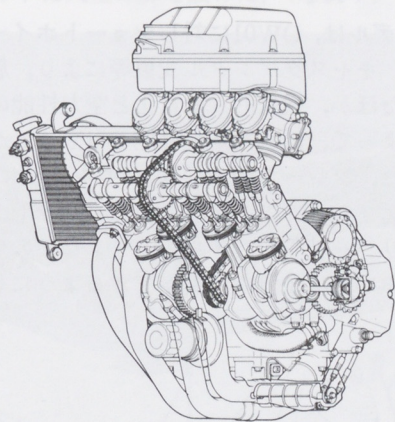


図1 エンジン外観図

- ①キャブレターセッティングの変更
メイン系の見直しにより、大口径キャブの欠点であるレスポンスの鈍さを改良した。
- ②スロットルポジションセンサ (TPS) 及びギヤポジションセンサ (GPS) の採用
これまで、エンジン回転数のみでコントロールしてきた点火時期とEXUP開度を、スロットル開度とギヤ段数情報によって多面的にコントロールするものである。急加速時、極低開度時などにも対応できる点火、EXUP特性の設定により、高性能と低燃費の両立が可能となった。(図2)
- ③冷却系の改良

ラウンドタイプラジエタにデュアルファンを装着し、冷却系の効率向上を図った。

* モーターサイクル事業本部 第1開発部
** モーターサイクル事業本部 第3開発部
*** モーターサイクル事業本部 第4開発部

以上のような見直しの結果、'93モデルに対し、中高速域のドライバビリティが向上し、さらに4～6%程度の燃費改善を図ることができた。

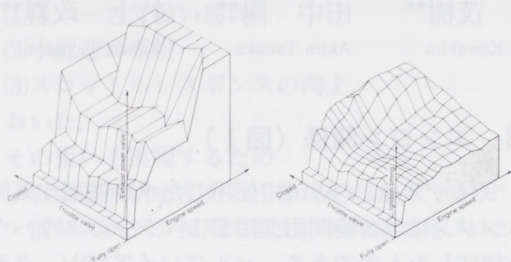


図2 EXUPと点火時期のマップ

4 車体関係

'93モデルは、OW01に対しショートホイールベース化、キャストアングル変更等により、旋回性を上げたほか、徹底的な軽量化と空力性能の作り込みによって、優れた走行性能を得ることができた。また、ブレーキ回りでは、フロント側にφ320フローティングダブルディスクに6ポットタイプのキャリパを装着し、アウトバーンなどの全開走行下においても十分な制動ができるようにした。(図3)

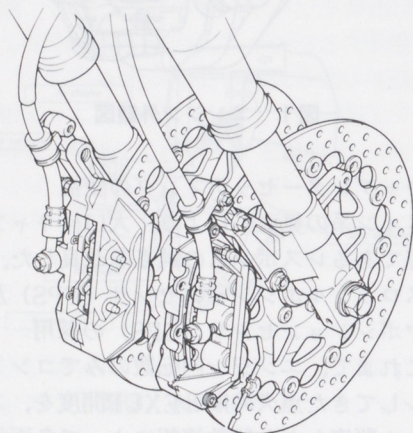


図3 フロントブレーキまわり

'95モデルでは、基本骨格はそのままとし、サスペンション及びカウリング形状の変更を主として実施した。

①フロントフォーク

φ41倒立というスペックはそのままで、バル

ブ、メタル類の見直しにより、作動性、吸収性の改良を行った。

②リヤショックアブソーバ

スーパーバイクレースで実績のある、スウェーデンオーリス製のユニットを装着した。高い加工精度から得られる極低速域での減衰特性により、ソフトでかつ高い吸収性能を持つ好フィーリングを出している。(図4)

③カウリング

ラジエターへの冷却風の導入効率及び抜け効率向上のため、インナーパネルの設定、アウトレット形状等の変更を実施した。あわせて全体のイメージもより迫力あるものとした。

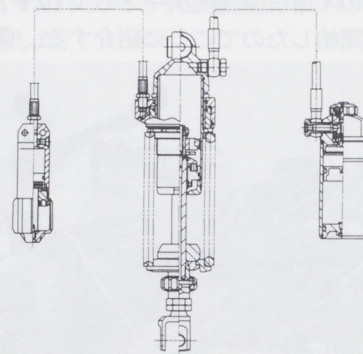


図4 オーリスサスペンション (SP)

5 SP仕様

スーパーバイク用として、基本ポテンシャルを高いものとするため、以下のSP専用仕様を設定した。

- ①FCR39キャブレター
 - ②クロスレシオミッション
 - ③一人乗り専用サスペンションレシオ
 - ④スラストベアリング入りピボットシャフト
- '95モデルはさらに以下の装備を追加した。
- ①上下位置可変のピボット構造
 - ②レース仕様共通のオーリス製リヤサス
 - ③分離式リヤフレーム

6 おわりに

YZF750R/SPは、スーパースポーツの世界に、コーナリングの新しい楽しみを一般ユーザーに提供できたと考えている。今後も、健全なる進化を続けていくことこそ、我々の使命と考え、努力していく所存である。